

## 伊平屋村米崎海浜公園体験交流拠点施設整備事業（H20～21）の概要

### 【伊平屋村の概要と現状】

#### 概要

沖縄県最北に位置する離島村（沖縄本島より船で1時間20分）  
自然が多く残る島。日本名松「念頭平松」、天の岩戸伝説「くまや洞窟」、県内でも有数の透明度、白い砂浜を有する「米崎海岸」等。  
イベントの開催。「ムーンライトマラソン（毎年10月頃）」、「伊平屋まつり（毎年7月）」を開催。  
自然を活かした観光業が、本村の基幹産業のひとつ。

#### 現状

観光客のニーズ（周遊型 体験滞在型）  
の変化が見られる。  
その観光形態に対応が遅れている伊平屋村。  
観光客は平成13年度をピークに減少している。  
伊平屋村の観光の主となっているマリトレジャーも減少している。



北部振興事業との関連（「北部振興並びに移設先及び周辺地域振興に関する基本方針」H12年策定）

「島の共生ゾーン」と位置づけられ、「島の豊かな自然と文化を生かしたイベントやプログラムの開発、体験・交流保有機能の充実を図り、滞在型・体験型の観光リゾートとしての一層の発展を目指す。」とされている。

### 【課題】

#### 観光振興とその中心となる米崎海岸の課題

拠点となる施設がないことから、体験者に対してその時々で集合場所を案内している状況にあり、サービスの低下につながっている。  
体験プログラム受け入れが増加し、オリエンテーションルームやレクチャールームの確保が課題。  
荒天時の代替プログラム実施場所の確保が困難で、体験プログラム実施について制限を受ける。  
ブルーツーリズムの拠点となっている米崎キャンプ場は台風等の被害が多く倒木や砂で施設の機能が低下している。  
観光客が最も多く訪れる夏場の観光客数の減少が著しい。特に、米崎を利用するキャンプ客の現状が多く、施設の機能の充実や景観の保全が望まれている。



### 【解決策】

#### 必要な機能等

観光客の多様化するニーズに対応する機能性、利便性の向上、地域資源や特性を活かした体験プログラムの充実及びそれらを機能的に実施するための運営体制の充実並びに運営拠点機能の整備、さらには伊平屋村随一の観光資源である米崎海岸周辺の環境保全と利用客への利便機能等の整備も実施することで、伊平屋村観光のアクセスポイント（拠点施設）を形成し、観光の機能性、利便性の向上が図られる。

#### 施設の概要

体験交流施設（332.5 m<sup>2</sup>）  
オリエンテーションルーム、調理実習室、シャワー室等  
外構施設（29,708.67 m<sup>2</sup>）  
キャンプサイト、炊事棟、トイレ・シャワー施設、園路、駐車場等  
米崎海浜公園敷地面積：6ha  
国費312百万円（事業費347百万円）

### 北部振興事業において「伊平屋村米崎海浜公園体験交流拠点施設整備事業」を実施

#### 事業実施内容

体験プログラムを機能的に実施するための利便施設である体験プログラムの拠点機能施設を整備し、同じく村の観光資源である米崎キャンプ場における周辺環境の保全と、利用客の利便性を高める利便施設や、野外交流活動の場となる多目的広場等の整備を行い、島内観光の拠点として伊平屋村観光の機能性、利便性の向上を図る。

### 【これまでの取組】

#### 観光基本計画を策定（H15）

将来像を「原風景の郷 - 伊平屋」をテーマとして、島特有の自然や文化を活かし、農業や漁業と観光を組み合わせた体験滞在プログラムの開発やゾーン戦略を打ち出し、観光による本村の活性化計画を策定。  
米崎海岸周辺等を活用した地域活性化基本計画を策定（H17）

北部振興事業において実施。

H15調査を踏まえ、本村の観光需要、地域資源を活用した地域活性化のあり方や活用方法を調査し、本村の観光の拠点（特にマリトレジャー、ブルーツーリズム）である米崎海岸を拠点とした体験プログラムの開発や必要な機能について方向性を提示。



#### その他

体験滞在プログラムインストラクター（29名）講習、自然・歴史ガイド講習の実施  
シーカヤックの購入（10台）  
観光情報発信のため、HP構築やリニューアル、等々



### 【事業の効果・今後の取組】

#### 効果

本施設を整備することによって、観光客（リピーター）を含む観光客の増大を図り、また、観光客と地域との交流を進めることで、地域経済への波及効果による地域の活性化を図るものである。

#### 今後の取組

インストラクター講習などによる人材の確保、体験型観光推進のための組織作り及び島外でのPR活動の積極的な実施。  
民間では、グループエコライフを中心に商工会や漁協等とともに、体験滞在プログラムの充実強化、運営組織の強化。